


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立青森聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input checked="" type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	いじめをしない学級ルールをつくろう		
	単元(題材)の目標	いじめのない学級づくりを目指し、「なぜいじめが起こってしまうのか」を考えることを通して、お互いのきまりを自分たちで考案し、実行しようとする実践意欲を育む。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	2 年 2 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動では自分の意見を発表できるが、先に自分が発表すると後の友達の発表をきちんと聞いていなかったり、話したいことを整理できず同じ内容を繰り返して話したりするため、話し合いが深まらない時がある。 きまりや約束を守ることの大切さをわかって、実践しようという気持ちをもっているが、なぜ守らなければならないのかは理解できていないため、その場での自分の気持ちや都合を優先した言動をすることがある。 自分の言動や経験を振り返るときには特定の場面に限られることが多く、背景や理由を考えたり、汎化させたりすることが難しい。 書字については誤字脱字が多く、キーボード入力には時間がかかる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	Post-it®		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (■意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (□情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (■教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	今までも意見を付箋に書いて共有する活動は行ってきていたが、大きな模造紙に貼るため見返すことが難しい。粘着力の低下により剥がれやすく紛失しやすい。書き足していくことで乱雑になるなどのデメリットがあった。また、誤字脱字のため書き直しをすることに時間がとられ、書いた意見をもとにした話し合いが深化しないことも多くあった。キーボード入力にも時間がかかるため、書字したものをデジタルデータ化することができる Post-it®を使用することで、「振り返りのしやすいデータ活用」「十分な話し合い時間の確保」をねらった。		
活用の状況と支援	付箋に書いたものをデジタルデータ化することによって、紛失もなく、いつでも見返すことができるようになり、振り返りがしやすくなった。また、誤字等もアプリ上で訂正できるために、書き直す時間を削減できた。 アナログであれば付箋1枚1枚を動かさなければならないが、アプリ上ではまとまりとして動かすことができるため、他の付箋のまとまりと関連付けがしやすかったり、自動的に見やすく整理してくれるなどの機能があたりすることで、話し合いの時間をより充実させることができるようになった。			

